

単元名 きよくの ながれ

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など、音楽の構造との関わりに気付くことができる。
 (2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) 聞こえてくる音、旋律の変化、拍やその流れに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070207_001

【教材名】おどる こねこ (鑑賞) (P. 48～P. 50)

【準備等】鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「おどるこねこ」の旋律の変化や曲の流れに合わせて体を動かしながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おどるこねこ」の最初の部分を聴く。 ★おんがくに あわせて こねこに なって おどろう ○「なべなべ」の動きをしながら「おどるこねこ」の最初の部分を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人で手をつなぎ、腕を揺らす。 ・バイオリンの「ニャオ」の部分でくると回り、次の「ニャオ」で元に戻る。 ○「おどるこねこ」を全曲通して聴き、聴こえてきた音や気付きを発表する。 ○「なべなべ」の動きをしながら「おどるこねこ」を全曲通して聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じが変わったらその場に座る。 ・曲の感じが戻ったら、再び立ち上がって「なべなべ」の動きをする。 ○「おどるこねこ」の曲の進み方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・A (猫の鳴き声あり) — B (猫の鳴き声なし) — A (猫の鳴き声あり) — コーダ (犬の鳴き声) の進み方を知る。 ・進み方の板書を見ながら、もう一度「おどるこねこ」を静かに全曲聴き、流れを確かめる。 <p>3 「おどるこねこ」の部分ごとの旋律の感じを確かめ、様子を思い浮かべながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おどるこねこ」の様子を思い浮かべながら部分ごとに聴く。 ★きよくのようにすを おもいうかべながら きこう ○「おどるこねこ」を全曲通して、自由に動きながら聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・個々で動く。 ・グループで動く。 ○「おどるこねこ」を全曲通して静かに聴き、意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲名を知らせずに聴かせる。 ・何の動物が出てきたか意見を出させる。 ・猫の声が出てきたら手を挙げさせる。 ・3拍子にのった動きや、鳴き声に反応した動きを取り上げる。 <p>【評】曲に合わせて体を動かしたり、気付いたことを発表する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、途中で「ニャオ」が聞こえなくなったら、座って聴くことを伝える。 <p>【共通事項】変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猫の鳴き声はずっと聞こえていたかを児童に問いかけ、途中で聞こえなくなったところがあったこと、途中からまた聞こえる部分があったことを確認する。 ・犬の鳴き声も取り上げ、曲の進み方を押さえる。 <p>【共通事項】反復</p> <p>【評】曲想や旋律の変化から、曲の進み方を確認する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した曲の進み方を確認する。 ・部分ごとに旋律の感じを確かめさせ、音楽が表している様子を思い浮かべながら聴くように伝える。 ・A—B—Aごとに思い浮かべた様子を自由にさせ、理由も聞いていくようにする。 ・Aの部分では「ニャオ」が直前の旋律にこたえるように聞こえてくることも事前に伝えておくとうい。 <p>【共通事項】旋律 呼びかけとこたえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の「なべなべ」の動きを取り入れてもよいが、児童が考えた新しいアイデアも積極的に取り上げ、理由を含めて紹介させる。 ・拍に合っていない動きがある場合は、3拍子にのった動きを促し、曲に浸れるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを利用するとよい。 ・曲のよいところ、面白いところについて意見交換させる。 <p>【評】楽器の音色や旋律の反復・変化等の働きが生み出すよさや美しさを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】